Kyuden Hightech

COMPANY PROFILE

（当社の概要）

九電ハイテック

高い技術力を活かし
すべてのお客さまに
安定して電力をお届けします

当社は、電力輸送設備の高経年化の進展を踏まえ、設備保全業務の高度化や現場技術力の向上を図るため、既存の九州電力グループ会社を再編して、2011年4月に設立されました。

設備の巡視、現地操作、設備の修繕や事故障害復旧などの業務を受託し、保全業務全般について、計画から実働まで一貫して実施しております。

電気は暮らしや産業を支え、欠かすことのできない重要なエネルギーです。

当社は、これまで培ってきた高い保全技術力を活かして、九州電力送配電株式会社と「車の両輪」として、「電力輸送設備を利用される全てのお客さまの電力を安定してお届けする」という使命を果たしていく所存でございます。

さらなる発展を遂げるため、2021年9月に「九電ハイテック将来ビジョン」を策定し、当社の未来像を見据えて“ありたい姿”を明確化いたしました。また、一般建設業（電気工事業）許可を取得し、建設工事も実施することが可能になり、お客さまニーズに幅広く応えていきます。

今後とも、皆さまのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長
和仁　寛

将来ビジョン

当社は、2021年4月に会社設立10周年を迎えました。
この節目に、私たちが目指すべき未来像として明確化した「九電ハイテックのありたい姿」と、これから実現するための目標として策定した「九電ハイテックの将来ビジョン」をご紹介します。

九電ハイテックの使命

電力輸送設備を利用されるすべてのお客さまの電力を安定してお届けする

九電ハイテックのありたい姿

「九州の明るい未来を技術で支える」

九電送配の目指す姿

「技術力とデジタル変革で、
日本を代表する先進的なインフラ企業になる」

九電グループの思い

「ずっと先まで、明るくしたい」

ロゴに込めた思い

「九州全域に電力を安定供給する」という目標を、3つのキーワード「クオリティ」「ヒューマン」「テクノロジー」が一体となって達成する姿を表現しています。

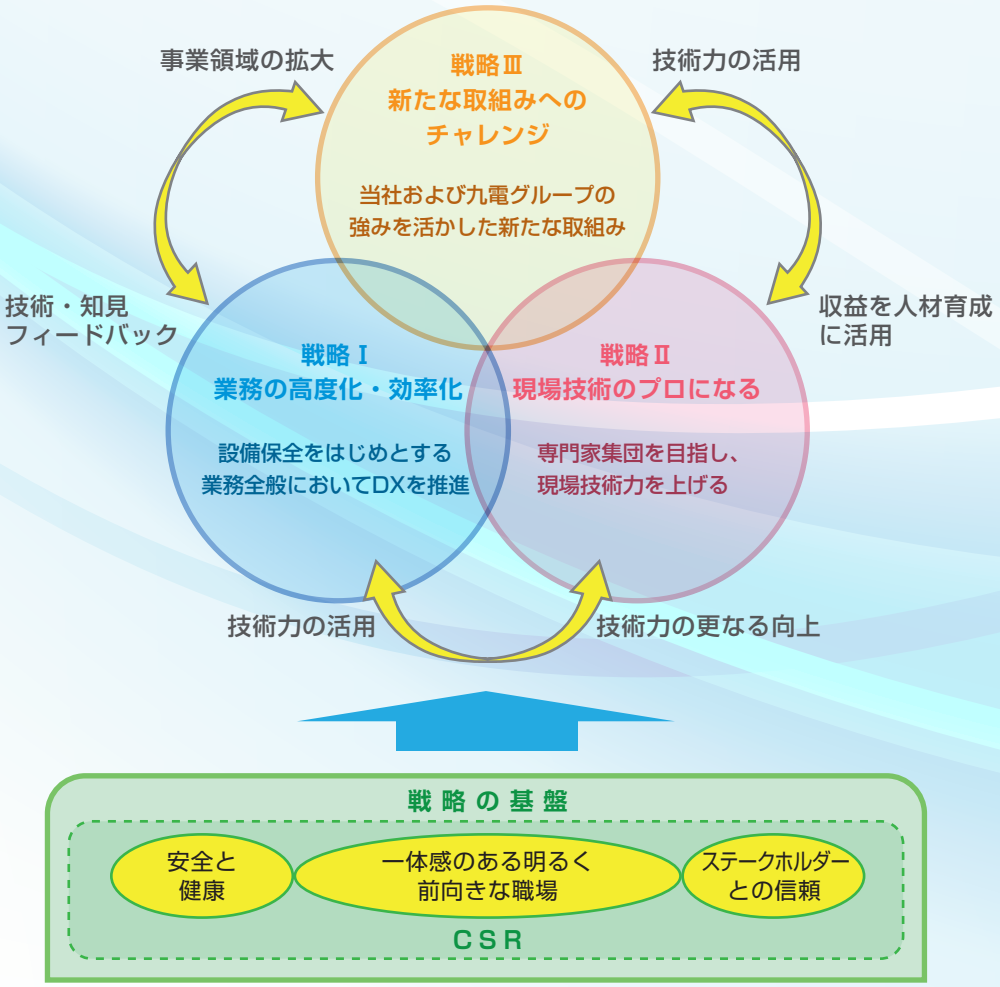
※コーポレートカラーの「青」は、「空」をイメージし、九電ハイテックが明るい未来へ向って羽ばたくことを表現しています。

九電ハイテックの将来ビジョン

- 高度な技術力を活用して、電力の安定供給を支え続ける
- 一人ひとりが専門的で高度な技術力を有する人材に成長していく
- 新たな取組みにチャレンジするなど、企業として成長し続ける
- 安全と健康を最優先に、一体感のある明るく前向きな職場をつくるとともに、ステークホルダーの声に耳を傾け信頼関係を構築し、経営に反映していく

戦略のイメージ

- 戦略の基盤を維持しつつ、３つの戦略を重点的に実施していきます。



事業内容

電力輸送設備等の保全を一元的に担い、九州における電気の安定供給に貢献しています

発電所でつくられた電気は、高圧送電線を通じて電力消費地近くの変電所まで送られ、変電所で電圧を下げて工場や一般家庭などのお客さまのもとへ届けられていますが、発電所からお客さまへ良質な電気を安定してお届けするためには、送電線や変電所の機能を万全な状態に保っておくことが不可欠です。

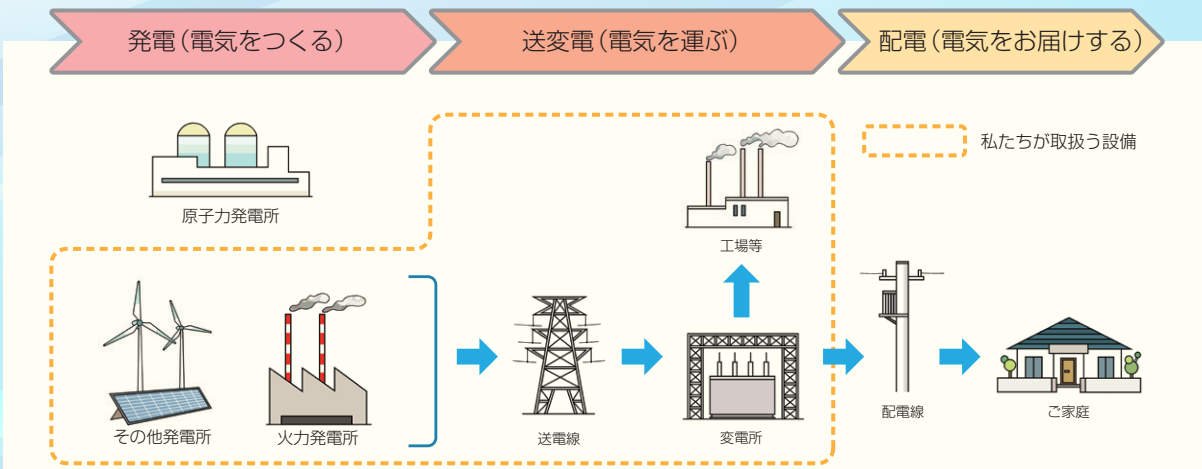
当社は、九州電力送配電株式会社が所有する送変電設備（送電線、変電所）の保守・点検等の設備保全（メンテナンス）業務を同社から一括して受託しており、電力の安定供給を支えています。

当社が受託している電力輸送設備等の保全業務は、もともと九州電力が実施していましたが、高経年化が進みつつある送変電設備のメンテナンスを確実かつ効率的に行い、電力の安定供給を維持していくため、当該業務を専門に行う当社が設立されました。

当社は、設備保全に特化した専門家集団として、保全計画の策定から実施まで設備保全に関する一連の業務を自律的に行うとともに、これまでに蓄積してきた知見や新技術を活用した、保全精度の向上と効率化に取り組んでいます。

また、当社は、変電所等の技術コンサルティングや系統解析などの業務も手がけており、九州電力送配電の事業運営に欠かすことのできないビジネスパートナーとして電力事業の一翼を担っています。

加えて、2022年からは、当社の技術力やノウハウを活用し、九州電力送配電以外のお客さまに対する保全業務なども広く受託し、企業として更なる発展を目指した事業展開を行っています。



電力設備の建設（既存設備の拡充、大規模修繕含む）、運用（運転、系統運用など）を九州電力送配電が行い、当社は送電線・変電所の設備保全（巡視、点検、修繕）を行います。
また、九州電力送配電以外の発電所、工場等のお客さま設備の保全・建設工事も行います。

Maintenance department

保 全 部 門

■送変電設備の保全

保全部門では、送電線・変電所などの電力輸送設備を構成する様々な機器（変圧器、遮断器、保護装置、送電鉄塔など）の状態を確認するため、設備巡視や定期点検を行っています。また、設備の不具合があった場合は修繕を行い、設備を健全な状態に保ちます。

保全部門は、本社保全部のほか、支社、事業所、工務所の保全担当部署から成っており、本社保全部の統括（全社的な保全方針策定、保全技術高度化の検討等）のもと、九州電力エリア内の対象設備（変電所、開閉所約550箇所、送電線こう長約8,400km・鉄塔約28,000基）について、当社の各事業所が分担して設備保全を行っています。

遮断器内部の点検

ヘリコプターによる送電線の巡視

送電鉄塔・がいしの点検

保護装置の点検

■保全業務高度化への取組み

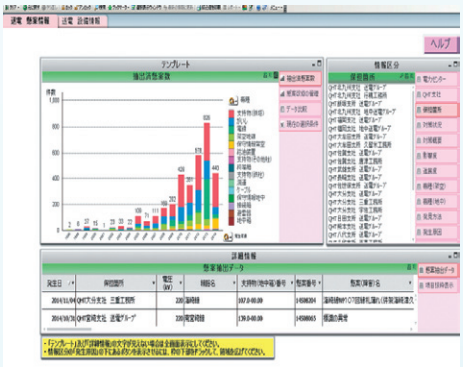
当社は、設備保全を通じて電力の安定供給に貢献するとともに、保全コストを必要最小限に抑え、電力供給コストの抑制に貢献することも重要な使命です。

このため、機器の劣化状況を正確に診断し、使える機器や部品はできるだけ長く活用しつつ、不具合が生じる前に適宜交換や修繕を行うといった、効率的な設備保全が求められています。

保全部門では、これまでに蓄積してきた膨大な点検データの分析を行い、科学的な余寿命診断手法の確立や点検周期の見直しに向けた検討を進めています。

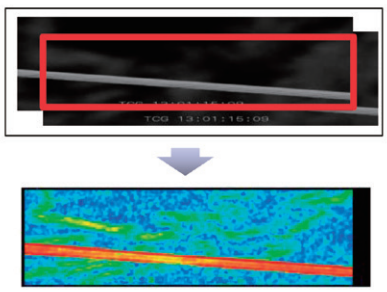
また、通常は人が昇って目視で行っている送電鉄塔や碍子（がいし）の点検について、ドローン（※）を活用した遠隔点検を行っているほか、画像解析技術やAIを活用して異常を検出する技術を用いた設備の劣化診断手法の開発にも取り組んでいます。これらの技術が本格的に確立されれば、より容易かつ確実に設備の劣化状況を把握することができ、大幅な省力化が可能となります。

当社では、新技術を活用した業務の省力化・高精度化に今後も積極的に取り組んでいきます。



保全支援システムによる点検データ分析

ドローンを活用した鉄塔・がいし点検



画像処理による電線異常診断

※　独自の育成カリキュラムにより年間30名程度の操縦者を育成

Electrical power system design & analysis department

電気設計および系統解析部門

■変電所等の設計関係

［ 変電所新設時の設計 ］

変電所新設時の基本設計（出力、型式選定等）や、機器の配置、設備全体のレイアウト設計などを行います。

また変電所に求められる性能（電気絶縁や耐塩・耐震、接地性能等）を満たすよう、設備の設計を行います。設計に際しては、専用のソフトウェアを用いて行います。

CADによる変電所設計

［ 電力機器増設･取替時の設計 ］

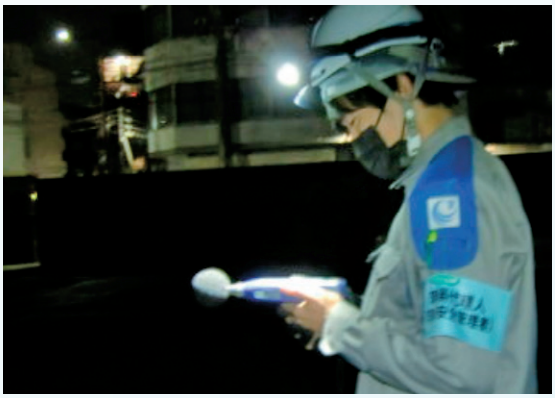
変圧器や遮断器など電力機器を増設したり、老朽化などによって取替えたりする際の設計を行います。

具体的には、工事後の機器レイアウトや機器基礎、母線やケーブルの配置設計などを行います。

基礎杭の健全性調査

［ 測定･解析など ］

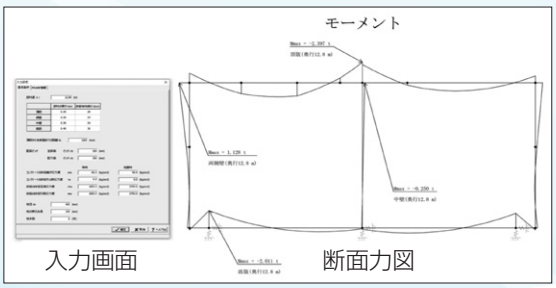
変電所等の設備を地下で支える「基礎抗体、基礎杭」が、堅牢な状態で維持されているかの調査や、変電所予定地の大地固有抵抗の測定、変圧器取替え後の騒音測定などといった、変電所等設備の健全性を維持･確認するための調査や、環境を維持･確認するための測定や解析を行います。



変圧器取替後の騒音測定

［ 地下基礎躯体の設計 ］

地下基礎躯体の設計は、専用のソフトウェアを用いて行います。当社では、既成のソフトウェアをより高性能なものに改造し、複雑な形状基礎の設計にも対応できるよう、ツールの高度化･効率化を図っています。

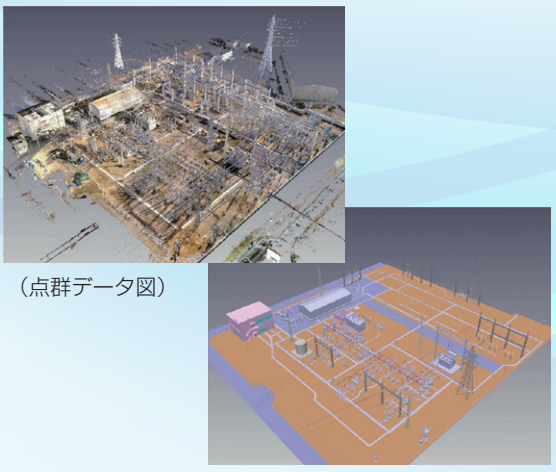


地下基礎躯体の設計例

［ 2次元図面の3次元化 ］

変電所等図面において、従来主に扱われている2次元図面の3次元化に取り組んでいます。3次元化することにより、現場作業で認識しづらかった狭窄部や充電部との安全離隔などを容易に視認できるようになり、また機器配置設計や安全な機器搬入ルートの検討が容易になります。

3次元図面は、たくさんの空間座標点の群で構成される「点群データ図」と、点群データを基に個々の機器をCADモデルで表した「3D-CADデータ図」があり、用途によって使い分けます。



（点群データ図）

（3D-CADデータ図）

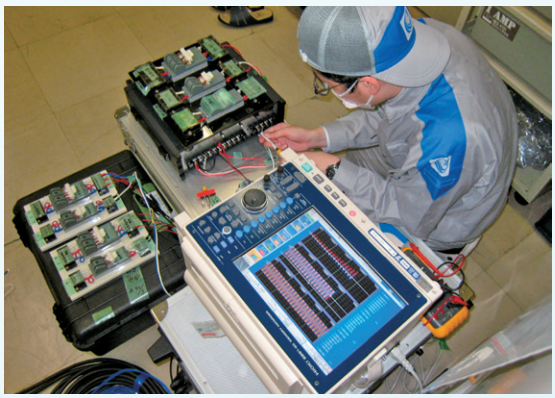
変電所の3次元図

■電力系統の計測・解析、調査・研究業務

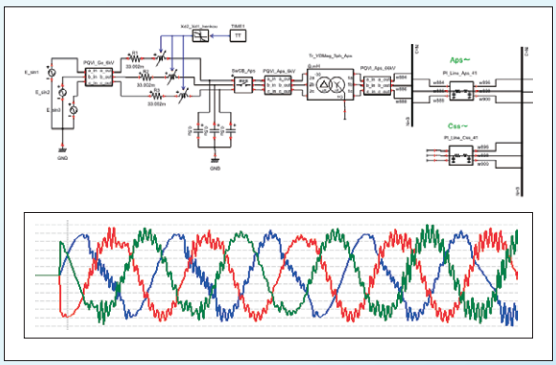
［ 電力系統の計測･解析、研究 ］

電力系統におけるさまざまな現象（電圧や周波数変動、高調波やフリッカの発生など）について、系統解析用のプログラムを用いた技術計算やシミュレーションによる解析、対策の立案を行っています。具体的には、送配電事業者からの委託を受け、電力系統安定化のための技術計算業務を行っています。

また、近年では出力が一定しない太陽光や風力発電が大量に連系することによる電力供給の品質維持が難しくなっており、電力系統におけるさまざまな現象を分析する系統解析の重要性が、ますます高まっています。そのようなニーズに応えるため、再エネ連系に関連する、電力の安定供給維持のためのさまざまな調査･研究も行っています。



変電所機器操作時の電圧変動対策作業

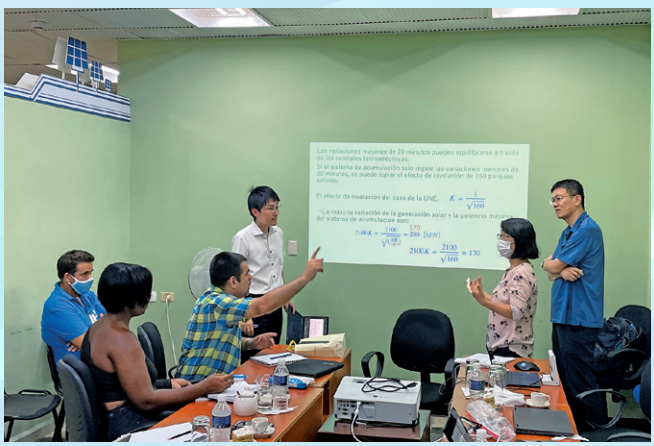


過渡現象を波形レベルで解析する
「XTAP」による回路(一部)と波形

［ 国内外のお客さま向け業務 ］

系統技術に関する専門技術やノウハウを活用し、電力会社以外の事業者に対し、お客さまニーズに即した計測や、電気現象解析などの業務を行っています。

また、電力会社等と協力して、途上国をはじめとする海外諸国の安定供給維持対策や、再エネ開発のための案件にも取り組んでいます。



キューバ国 再生可能エネルギー開発に向けたコンサル業務

会社プロフィール

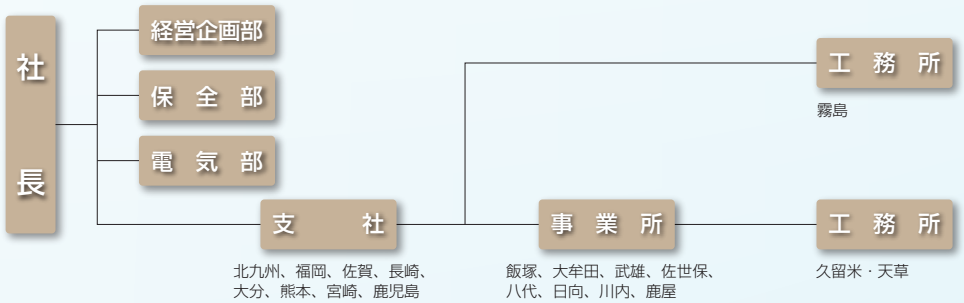
会社概要 Outline

商号	株式会社九電ハイテック
会社設立	2011年4月21日
資本金	2億円
出資比率	九州電力送配電株式会社 100％
本社所在地	福岡市中央区渡辺通二丁目9番3号
従業員数	1,044名（2025年3月31日時点）
主な事業内容	（1）電力設備の保守及び補修（2）電力設備に係る調査、試験及び設計 （3）電力設備の運転及び監視（4）電力設備の電気工事 （5）自家用電気工作物の保安管理（6）前各号に附帯関連する業務
主な取引先	九州電力送配電株式会社・九州電力株式会社
役員 （2025年6月24日時点）	代表取締役社長　和仁　寛 専務取締役　大岩根　誠　　取締役　尾上　信幸 常務取締役　中川　勝美　　取締役　池田　良司 常務取締役　森永　茂彦　　監査役　長濱　伸彦 常務取締役　南　浩二　　監査役　豊島　琢治
許認可	建設業許可　福岡県知事許可 ・電気工事業（般ー5）第116670号

沿革 History

2011年 4月	●株式会社九電ハイテック設立
7月	●西日本技術開発株式会社において行われていた発変電設備定期点検計画管理事業、電気設計事業及びこれらに附帯関連する事業を吸収分割し承継 ●九州計装エンジニアリング株式会社において行われていた保護装置定期点検等計画・管理実働事業及びこれらに附帯関連する事業を吸収分割し承継 ●株式会社九電ハイテック事業開始
2012年 7月	●九州電力株式会社から発変電設備、送電設備の巡視、日常点検等の保全業務を受託拡大
2014年 7月	●九州電力株式会社から発変電設備、送電設備の修繕工事等を受託拡大、保全業務を計画から実働まで一貫実施する体制を確立
2020年 4月	●九州電力の法的分離に伴う九州電力の分社化により、九州電力送配電株式会社の子会社となる

組織図 Organization chart



事業所 Office

・本　　社　〒810-0004
福岡市中央区渡辺通二丁目9番3号
TEL 092-726-3070　FAX 092-726-3083

・北九州支社　〒802-0003
北九州市小倉北区米町二丁目3番1号
TEL 093-533-8587　FAX 093-533-8734

飯塚事業所　〒820-0001　飯塚市鯰田2109番地１

・福岡支社　〒810-0004
福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
TEL 092-733-6536　FAX 092-716-1634

大牟田事業所　〒837-0911　大牟田市大字橘292番地１
久留米工務所　〒830-0047　久留米市津福本町542番地

・佐賀支社　〒840-0804
佐賀市神野東二丁目3番6号
TEL 0952-33-1178　FAX 0952-33-1193

武雄事業所　〒843-0022　武雄市武雄町大字武雄3742番地２

・長崎支社　〒852-8021
長崎市城山町3番19号
TEL 095-864-1977　FAX 095-864-1976

佐世保事業所　〒857-0854　佐世保市福石町19番１号

・大分支社　〒870-0026
大分市金池町二丁目3番4号
TEL 097-537-8310　FAX 097-534-4576

・熊本支社　〒862-0951
熊本市中央区上水前寺一丁目6番36号
TEL 096-386-2311　FAX 096-386-2507

八代事業所　〒866-0821　八代市福正町781番地2
天草工務所　〒863-0034　天草市浄南町2番68号

・宮崎支社　〒880-0001
宮崎市橘通西四丁目2番23号
TEL 0985-26-9190　FAX 0985-26-9070

日向事業所　〒883-0041　日向市北町一丁目112番地

・鹿児島支社　〒890-0062
鹿児島市与次郎二丁目6番16号
TEL 099-253-1192　FAX 099-285-5038

霧島工務所　〒899-4332　霧島市国分中央三丁目24番8号
川内事業所　〒895-0005　薩摩川内市永利町891番地１
鹿屋事業所　〒893-0013　鹿屋市札元二丁目3672番地4

九電ハイテック

本社　〒810-0004　福岡市中央区渡辺通2-9-3
西鉄渡辺通二丁目ビル6階
TEL:092-726-3070 FAX:092-726-3083
http://www.kyuden-tech.co.jp/

九電グループ
ずっと先まで、明るくしたい。

水なし印刷

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C005319

2025.7